

低入札価格調査結果調書

- 1 調査対象業務件名 : 土佐清水 (7) 土質調査
 2 入札日 : 令和7年7月23日
 3 調査対象業者名 : (株) 地圏総合コンサルタント (法人番号 : 6011501016164)
 4 調査の概要 :

事 項	内 容
(1) 当該価格により入札した理由	<p>当該事業者は、以下の理由から、品質を確保した上で、当該価格での本業務の履行が可能と判断し入札したものを。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数件の同種業務の実績を有することから、目的および内容を理解して品質の良い成果品を提供することが出来ると判断した。 ・複数件の同種業務実績を持つ技術者の配置が可能であり、適正な工程管理ならびに効率的な業務遂行が実現できると判断し、企業努力の範囲内で価格を設定し応札した。 ・他の調査業務の実績から、下記の理由により諸費用の圧縮（経費低減）が可能。 <p>① 業務を担当する技術者は、同種業務実績を豊富に保有しており、業務遂行全般にわたり効率的な作業が可能。</p> <p>② 同種業務実績を有している社内照査技術者を配置し、適宜照査を実施することで業務の品質の確保が可能。</p> <p>③ 再委託先に予定している4社とは、長年にわたり取引実績があり、取引実績に基づく作業効率を踏まえ費用を算出し、精度および安全確保のための配慮等、問題なく対応できることを確認した。</p> <p>④ 本業務では、技術提案書の作成費用が不要であるため、必要経費(管理費)が削減可能。</p> <p>⑤ 全体的な事務手続きの効率化により、一般管理費等の圧縮が可能であり、企業努力の範囲を超えない金額としている。</p>
(2) 入札価格の適切性	<p>土質調査を再委託しており、土質調査業務の直接調査費の再委託の割合は40%、土木調査業務の各経費の合計金額の再委託の割合は30%であることを確認した。</p> <p>諸経費は、当局の積算と乖離が見られたが、(1)の状況を踏まえ積算内容を確認した結果、入札価格は企業努力の範囲内であり適切であると判断した。</p>
(3) 当該契約の履行体制	再委託先のボーリング作業、土質試験には、当該事業者の管

	理技術者の指導のもと担当技術者が常駐し、品質の確保に問題がないことを確認した。
(4) 手持ちのコンサルタント業務等の状況	管理技術者は4件受け持っているが、うち2件については、業務のとりまとめを行っており、1件については内業のみ、残りの1件については定期観測のため、これら4件に係る業務量は多くないことから、本業務に支障が無いことを確認した。
(5) 配置予定技術者	配置予定技術者は地質調査技士を取得しており、資格要件を満たしていることを確認した。
(6) 手持機械等の状況	使用する機器の有効期間及び再委託先の機械の点検状況に問題が無いことを確認した。
(7) 過去において受注・履行した同種又は類似の業務の状況	九州防衛局及びNEXCO等の土質調査を履行しており、九州防衛局の土質調査においては、業務成績80点を取得していることが確認できた。
(8) 経営状況及び信用状況	問題なし。

5 当該業務について契約内容に適合した履行の有無 : 有

6 落札の決定 : 決定